

第23回学術シンポジウムプログラム

「次世代バイオ検査薬開発の最前線」

近年、予防医学の発展ならびに健康・ウェルネスに対する意識の向上から免疫検査技術の高感度化・低価格化・迅速化があらためて求められている。さらに、血中のエクソソームや異常脂質分子など、新たなバイオマーカーの発見にともなって、今後一層、検査項目の多様化や検査技術の複雑化が予想される。このような背景から、本シンポジウムでは、次世代バイオ検査薬開発の最前線と題し、これらの最新の研究成果についてご紹介いただくことにした。第一部では、近い将来、検査薬への実用化が大いに期待されている低分子抗体の単離・生産・分離精製技術について議論する。第二部では、次世代のターゲットマーカーとして検査への関心度が高い核酸分子およびウィルス粒子を取り上げ、これらの最新の検査技術について議論する。

■期日：2018年（平成30年）11月 9日（金） 13:00～17:00（受付 12:30～）

■会場：国立大学法人京都工芸繊維大学 創造連携センター 2階 プレゼンテーションルーム
〒606-0951 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 (https://www.kit.ac.jp/uni_index/access/)

■オーガナイザー：熊田陽一（京都工芸繊維大学分子化学系 准教授）

■プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶

上田宏（東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 教授）

第一部 低分子抗体の単離・生産・精製技術の最前線

13:05-13:45 講演1 「産業応用を目的としたラクダ科動物由来 VHH 抗体の単離と性状解析」

宮崎誠生（アーク・リソース株式会社 事業推進室 室長）

13:45-14:25 講演2 「組換え大腸菌を用いた流加培養による単鎖抗体の高効率菌体外生産」

堀内淳一（京都工芸繊維大学分子化学系 教授）

14:25-15:05 講演3 「分子設計とリボゾームディスプレイ法を利用した

高効率な変異スクリーニング手法による抗体結合タンパク質の高機能化」

水口和信（株式会社カネカ バイオテクノロジー研究所 グループリーダー）

15:05-15:20 休憩

第二部 次世代生体分子検査技術の最前線

15:20-16:00 講演4 「イムノクロマト法を用いた感染症診断薬の開発～エボラウイルスを例に～」

加藤大介（デンカ生研株式会社 研究開発センター 主任研究員）

16:00-16:40 講演5 「生体試料中 miRNA の簡便定量測定に向けた取り組み」

小堀哲生（京都工芸繊維大学分子化学系 准教授）

16:40-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶

熊田陽一（京都工芸繊維大学分子化学系 准教授）

17:30-19:30 情報交換会

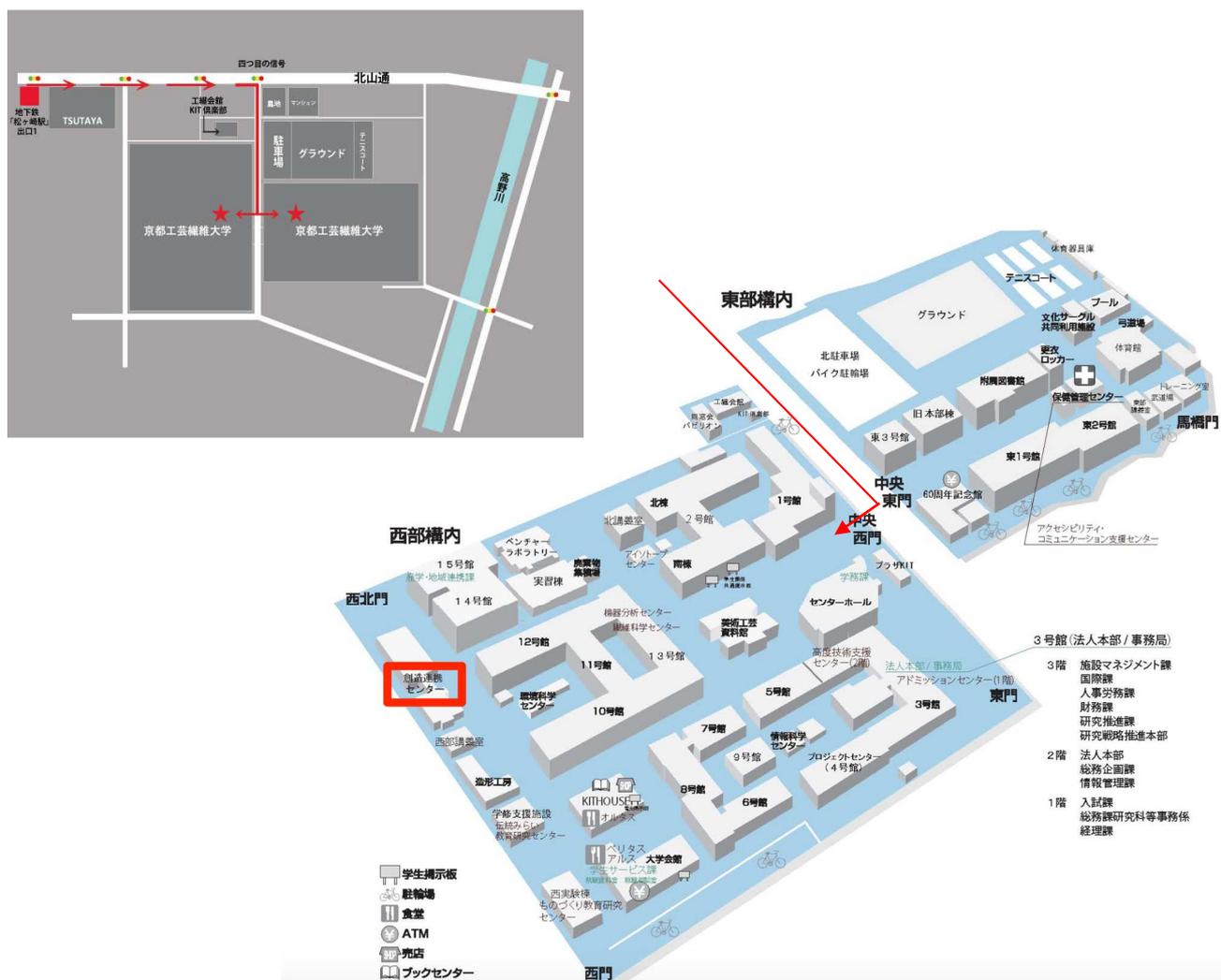
- 参加費： 会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、
学生；無料（要旨集 2,000 円）
情報交換会；5,000 円（参加者のみ）

■協 賛：国立大学法人京都工芸繊維大学

■会場案内：

【住所】〒606-0951 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町

【アクセス】



問合せ：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地

株式会社日吉内

TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192

E-mail：basj@hiyoshi-es.co.jp

HP：<http://www.basj.info>

参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 (basi@hiyoshi-es.co.jp)

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第23回学術シンポジウムの参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい